

# 令和5年度環境経営レポート（第7版）

（対象期間：2022年9月～2023年8月）



MARUSHO SANKYO

# 株式会社 丸正サンキョー

2023年9月29日発行



®環境省  
エコアクション21  
認証番号 0012260

# 目 次

1. 登録事業所の概要
2. 対象範囲（認証・登録の範囲）
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
6. 環境関連法規制等の遵守状況及び違反・訴訟の有無
7. 社長による見直し結果
8. 実績グラフ（過去5年分）

# 1. 登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 丸正サンキョー  
代表取締役 千葉 晃嗣

(2) 所在地

〒 336-0911  
埼玉県さいたま市緑区三室1501-1  
電話 048-875-0291  
FAX 048-875-0294

駐車場 埼玉県さいたま市緑区三室1502

資材置場 埼玉県さいたま市見沼区染谷3-292 ※2021年6月25日購入 (3232m<sup>2</sup>)

(注) 上記の駐車場、資材置場は無人

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 環境管理責任者 山口 昇一  
担当者 統括管理部  
連絡先 電話 048-875-0291  
FAX 048-875-0294

(4) 事業の規模 (2023年度/2022年9月～2023年8月)

項目	2023年度	2022年度	2021年度
売上高 (百万円)	480	522	979
従業員 (人)	32	32	33
工事件数 (件)	25	31	4
事業所延べ床面積/本社 (m <sup>2</sup> )	654	654	654
置場面積 (m <sup>2</sup> )	3232	3232	3232

(5) 法人設立年月日

1975年 2月 6日

(6) 資本金

3800万円

# 2. 対象範囲 (認証・登録の範囲)

【事業内容】

土木工事・舗装工事・下水道工事の設計施工

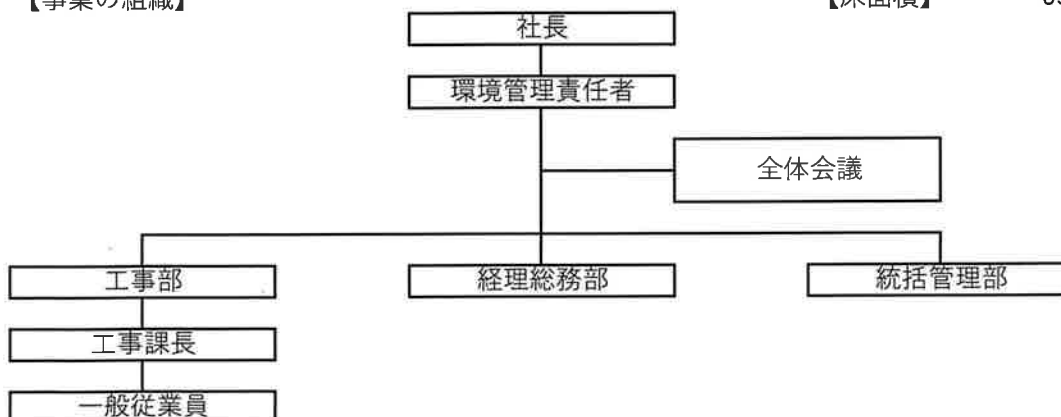
【事業範囲】

「全組織・全活動」

【事業の組織】

【敷地面積】 4354m<sup>2</sup>

【床面積】 654m<sup>2</sup>



## 3.環境経営方針

### 基本理念

株式会社丸正サンキョーは、総合建設会社として、公共工事および民間工事の施工を行っています。私たちはこれらの企業活動のなかで、法の遵守、省エネルギー、資源の有効利用などにおいて継続的改善に努め、地域社会と協同し、一層の社会的責任を果たします。

### 基本方針

当社は建設業を行う事業者として、建設業を行うにあたり発生する環境への負荷低減を全従業員参加で行います。また環境関連法規等の遵守に取組み、以下の活動を進めます。

1.目標及び活動計画を作成し、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めます。

- ① 事業活動全般にわたる二酸化炭素排出量の削減
- ② 建設廃棄物の分別とリサイクルによる廃棄物排出量の削減
- ③ 建設工事に伴う騒音・振動・悪臭等の防止
- ④ 建設資材及び事務用品等のグリーン購入の促進
- ⑤ 環境に配慮した提案、設計、施工

2.環境に関連する法規制、および地域社会との協定、その他、合意事項について遵守します。

3.この方針は社外にも公表し、全従業員に対し周知し、協力会社へも周知し協力を求めます。

4.地域社会との共生を図り、社会貢献活動に協力します。

2018年1月24日 制定

2023年9月27日 見直し

株式会社 丸正サンキョー  
代表取締役社長 千葉 晃嗣

## 4.環境経営目標

承認日:2023年 9月27日  
承認者:千葉 晃嗣

### 環境経営目標及び環境経営活動計画の策定

- ①環境経営方針、負荷チェック、取組チェックの結果を踏まえて具体的な環境経営目標及び環境経営活動計画を策定する。
- ②環境経営目標は、可能な限り数値化し、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減（一般）、水使用量削減、電力削減、（燃料削減（軽油）、グリーン購入の各項目に関する中期（3～5年間）の目標と単年度の目標を策定する。
- ③環境経営活動計画においては、環境経営目標を達成するための具体的な手段、日程及び計画の責任者を定める。
- ④顧客満足度の向上に努め会社全体で作業効率を高め環境に配慮した仕事をする。
- ⑤環境経営目標と環境経営活動は、関係する従業員に周知する。

#### 4 - 1 環境経営実績表

※売上原単位での目標値とする。

環境経営方針	2019年度 基準値	2019年度 基準値(原単位)	単位	2023年度 目標値	2023年度 目標値(原単位)	2023年度 実績	2023年度 実績(原単位)
二酸化炭素削減	(基準値)	(原単位)	k g - C O 2	6.0%減	6.0%減	—	—
	190,488	31,074		179,058	29,210	191,187	39,830
電力削減	—	—	増減率	6.0%減	6.0%減	—	—
	41,897	6,835	k W h	39,383	6,425	29,342	6,112
燃料削減(ガソリン)	—	—	増減率	6.0%減	6.0%減	—	—
	12,870	2,099	L	12,097	1,973	9,837	2,049
燃料削減（軽油）	—	—	増減率	6.0%減	6.0%減	—	—
	51,885	8,464	L	48,771	7,956	59,342	12,362
廃棄物削減（一般）	—	—	増減率	0.6%減	0.6%減	—	—
	295	48	k g	293	48	299	62
廃棄物削減（建設） 【コン塊、As・Co塊、廃ブ ラ、汚泥、混合廃棄物】	—	—	増減率	0.6%減	0.6%減	—	—
	1,847	301	t	1,835	299	1,432	298
	99.6%	—	(再資源化)	100.0%	—	76.5%	—
水使用量削減	—	—	増減率	0.6%減	0.6%減	—	—
	42	6.85	m <sup>3</sup>	41	6.69	144	30.00
環境配慮	6件	—	件	6件	—	6件	—
社会貢献（ロードサ ポート月1回実施）	1 2回	—	回	1 2回	—	1 2回	—

- 2023年度購入電力の二酸化炭素排出係数は「環境省 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数一覧、2023年度提出用の中より「東京電力エネルギーパートナー」の基礎排出係数（0.376kg/kwh）を使用しました」
- 過去に購入した電力の二酸化炭素排出係数は「東京電力エネルギーパートナー（株）平成27年度実績の実排出係数（0.505 k g /kwh）を使用しました」
- 当社の事業活動において化学物質の使用はありません。

#### 4 - 2 環境経営目標表

環境経営方針	2019年度 基準値	2019年度 基準値(原単位)	単位	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値
二酸化炭素削減	(基準値)	(原単位)	k g - C O 2	7.0%減	8.0%減	9.0%減	9.5%減
	190,488	31,074		177,153	175,248	173,344	172,391
電力削減	—	—	増減率	7.0%減	8.0%減	9.0%減	9.5%減
	41,897	6,835	k W h	38,964	38,545	38,126	37,916
燃料削減(ガソリン)	—	—	増減率	7.0%減	8.0%減	9.0%減	9.5%減
	12,870	2,099	L	11,969	11,840	11,711	11,647
燃料削減(軽油)	—	—	増減率	7.0%減	8.0%減	9.0%減	9.5%減
	51,885	8,464	L	48,253	47,734	47,215	46,955
廃棄物削減(一般)	—	—	増減率	0.7%減	0.8%減	0.9%減	1.0%減
	295	48	k g	292	292	292	292
廃棄物削減(建設) 【コン塊、As・Co塊、廃ブ ラ、汚泥、混合廃棄物】	—	—	増減率	0.7%減	0.8%減	0.9%減	1.0%減
	1,847	301	t	1,834	1,832	1,830	1,828
	99.6%	—	(再資源化)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
水使用量削減	—	—	増減率	0.7%減	0.8%減	0.9%減	1.0%減
	42	6.85	m <sup>3</sup>	41	41	41	41
環境配慮	6件	—	件	6件	6件	6件	6件
社会貢献活動 (道路清掃)	12回	—	回	12回	12回	12回	12回

- 2022年度購入電力の二酸化炭素排出係数は「環境省 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数一覧、令和4年度提出用の中より「東京電力エナジーパートナー」の基礎排出係数(0.452kg/kwh)を使用しました」
- 当社の事業活動において化学物質の使用はありません。
- 2020年度より業務量急増に伴い、環境目標値が当社の目標値とマッチしなくなりました。  
2020年度の是正・予防実施記録にて、2019年度の実績を環境目標に変更となっています。(2021年度より)

5-1環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容  
 対象期間（2022年9月～2023年8月）まで取組結果とその評価

売上：¥4,80億		工事件数：元請 4件/下請 25件		目標と実績の数値を売上で原単位化			
項目		取組内容		達成状況		評価	取り組みの評価
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	①省エネルギー活動の推進による電力使用量の削減。 ②化石燃料使用量の削減 ③ハイブリット車輛使用の推進	原単位 2019年度/基準値 31,074 目標 29,210 実績 39,830 達成率 73%	△	省エネルギーに関する従業員の節電意識は変わったが削減ならず。		
	電力使用量 (kWh)	①不使用設備停止（教育と巡視） ②計画的設備始動時間（ピーク電力カット） ③休憩時消灯、待機電力カット ⑥空調温度設定（冷房28℃、暖房20℃） ⑥空調温度設定（冷房28℃、暖房20℃）	原単位 2019年度/基準値 6,835 目標 6,425 実績 6,112 達成率 105%	○	LED照明に切替えを継続した。（全体の約77%）		
	燃料使用量の削減 (L)	①エコカーへの計画的切替え ②エコ車検、保守点検、整備 ③エコドライブ教育 ⑤経済走行（適切な運行計画） ⑥営業時の相乗運転の励行	ガソリン 原単位 2019年度/基準値 2,099 目標 1,973 実績 2,049 達成率 96%	△	前年度より、原単位で削減出来ているが、目標達成ならず。前年度原単位（2,185）		
廃棄物排出量の削減	事業系一般廃棄物 (kg)	②両面コピー・ミスコピー裏面、再使用の推進 ④包装の合理化（通い箱・封筒の活用） ⑤古紙、段ボールの分別回収	原単位 2019年度/基準値 48 目標 48 実績 62 達成率 77%	△	分別の意識が向上しミスコピーの再利用が図られたが、工事件数増加に伴い目標未達成。		
	建設廃棄物 (kg) 【コン塊、As・Co塊、塵ブ ラ、汚泥、混合廃棄物】	⑥廃棄物分別の徹底 ⑦残余資材のリサイクル	原単位 2019年度/基準値 301 目標 299 実績 298 達成率 100%	○	目標達成。		
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	①手洗い及び洗い物においては、日常的に節水を行う。 ②社有車の洗車を必要最小限に留め、節水を励行している。 ③建設機械を洗車する場合は、泥等を落としてから行う。	原単位 2019年度/基準値 6.85 目標 6.69 実績 30.00 達成率 22%	×	宿舍及び作業員への朝晩の食事担当者が2年前から変わり、それに伴い水道水の使用量が変わりました。以前より、食事も評判が良くなり食堂も綺麗になりました。			
環境配慮 (件)	①施工中の騒音・振動・粉塵対策等 ②施工場所にあう安全対策	2019年度/目標 6件 目標 6件 実績 6件	○	最新の重機を使用する事で、低騒音・低振動を確保しています。			
社会貢献活動の推進 (回)	①清掃活動への参加 (毎月1回 第3月曜日を予定)	2019年度/目標 12回 目標 12回 実績 12回	○	毎月20日朝礼前に参加 ※20日が休日の際は前後する。			
教育・訓練の実施 (回)	E A 2 1 導入教育	2019年度/目標 2回 目標 2回 実績 0回	×	コロナ過に伴い、本年度は実施せず。			
元請工事の評価点 (80点以上)	①評価チェック項目 再確認・実施	2019年度/目標 80点以上 目標 80点以上 実績 81点	○	今期の工事点数は84点が最高点でした。（埼玉県）			

※ ○印 = 目標達成    △ = 目標値から30%以内    × = 目標値の30%以下

## 5-2環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対象期間（2022年9月～2023年8月）まで環境経営計画の主要内容

※ ○印＝目標達成 △＝目標値から30%以内 ×＝目標値の30%以下

項目	取組内容	評価	2023年											
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 (CO2の削減)	○ △ ○ ○ △	実施部門 責任者 全部門 山口昇一 ①未使用時の電気消灯の徹底【未達成のため継続】 ②設備電気不要時の負担遮断【未達成のため継続】 ③エアコン温度設定の徹底（夏季28℃ 冬季20℃）【達成/CO2削減のため継続】 ④節電表示による周知徹底（昼休みの消灯等）【達成/CO2削減のため継続】 ⑤LED照明交換等の推進【未達成のため継続】											
	燃料使用量の削減 (CO2の削減)	○ ○ ○ ○	工務部 川口達夫 統括管理 山口昇一 ①アイドリングストップの徹底【達成/CO2削減のため継続】 ②効率的な良い配車スケジュールの検討実施【達成/CO2削減のため継続】 ③現場車両の必要最低限の検討と実施【達成/CO2削減のため継続】 ④社有車をハイブリッド車や低燃費車に切り替える											
廃棄物排出量の削減	建設廃棄物の再資源化	△ ○	工務部 各現場代理人 ①廃棄物分別の徹底【未達成/継続】 ②残余資材のリユースリサイクル【達成/CO2削減のため継続】											
	一般廃棄物排出量の削減	○ ○	全部門 山口昇一 ①廃棄物分別の徹底【達成/CO2削減のため継続】 ②リユースリサイクルの推進【達成/CO2削減のため継続】											
水使用量の削減	①節水シール等の表示及び生活用水の節制 ②洗濯等洗浄水の節約	× ○	全部門 山口昇一 ①節水シール等の表示及び生活用水の節制【未達成/継続】 ②洗濯等洗浄水の節約【達成/CO2削減のため継続】											
グリーン購入の推進	①利用可能なエコ商品の検討及び購入	○	総務部 千葉照永 ①利用可能なエコ商品の検討及び購入【達成/CO2削減のため継続】											
環境配慮の施工	①低騒音・排ガス対策型の建設機械採用の促進 ②騒音・振動・粉塵対策を講じた施工の促進 ③最適な建設機械サイクルタイムの計画・促進	○ ○ ○	工務部 各現場代理人 ①低騒音・排ガス対策型の建設機械採用の促進【達成/CO2削減のため継続】 ②騒音・振動・粉塵対策を講じた施工の促進【達成/CO2削減のため継続】 ③最適な建設機械サイクルタイムの計画・促進【達成/CO2削減のため継続】											
社会貢献活動の推進	①現場パトロールの実施 現場状況の把握 ②朝礼等を活用した社員と従業員の教育訓練の実施 ③社員と従業員による奉仕活動の実施（道路清掃等）	○ × ○	全部門 山口昇一 ①現場パトロールの実施 現場状況の把握【達成/現場状況把握のため継続】 ②朝礼等を活用した社員と従業員の教育訓練の実施【未達成/継続】 ③社員と従業員による奉仕活動の実施（道路清掃等）【達成/奉仕活動継続】											



## 6.環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟の有無

承認日:2023年9月22日

承認者:千葉 晃嗣

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法規名	該当する項目	遵守状況
騒音規制法	・H15条 規制基準遵守義務 ・H14条 特定建設作業の実施の届出	遵守
振動規制法	・H15条 規制基準遵守義務 ・H14条 特定建設作業の実施の届出	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄法)	・H12条 地方公共団体への協力 ・H12条-9 多量排出事業者とし処理計画と実施状況の報告 ・H6条-2-7 一般廃棄物処理の委託 ・H12条3.4.5.7 廃棄物処理の委託 (K10:水銀使用製品廃棄物含む) 【委託の基準・委託契約の保存期間・産業廃棄物管理票(マニフェスト)】 ・H14の4 収集運搬業の許可 ・K8の22、23 運搬受託者の管理票写しの送付 ・K8の26 運搬受託者の管理票の保存	取り組んでいる 遵守
リサイクル法	・H14条 事業者の責務(資源有効利用促進法)	遵守
家電リサイクル法	・H6条 関係者の責務 R1(対象品目機種)	遵守
自動車リサイクル法	・H8条 自動車所有者 ・H73条 再生資源化等預託金の預託	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	・H19条 第1種特定製品廃業等実施者の引渡し義務 ・H19条の3 第1種特定製品廃業等実施者による書面の交付 ・H20条の2 引取証明の保管 ・H19条の2 特定解体工事元請業者の確認及び説明 ・H19条の3 第1種フロン類取引受託者 ・H16条 フロン漏れの簡易点検の記録を3ヶ月に一度行う	遵守 取り組んでいる
建設リサイクル法	・H21条 知事への登録 ・H31条 技術管理者の選任 ・H5条 建設業を営む者の資格 ・H9条 分別解体等実施義務 ・H12条 対象建設工事の届出に係る事業の説明等  ・H13条 対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項  ・H16条 再生資源化実施義務 ・H18条 発注者への報告等	遵守
オフロード法	排気ガスの排出量の抑制	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	・第5項	遵守
埼玉県生活環境保全条例	・ディーゼル車排出ガス規制第31～34号 ・燃料規制 第43～44号 ・アイドリングストップの実施 第40～42号 ・自動車対策(その他地球温暖化対策)	取り組んでいる 遵守 取り組んでいる
埼玉県	・埼玉県土砂の搬出・堆積等の規制に関する条例 ・消防法	遵守
さいたま市	・グリーン購入法	取り組んでいる

環境関連法規制等の遵守状況は、定期評価の結果、環境法規制の逸脱はありませんでした。また過去5年間にわたって違反や訴訟も1件も発生しておりません。

## 7.社長による見直し結果

実施日 2023年 9月27日

実施者 代表取締役 千葉 晃嗣

### 1 全体の確認・評価

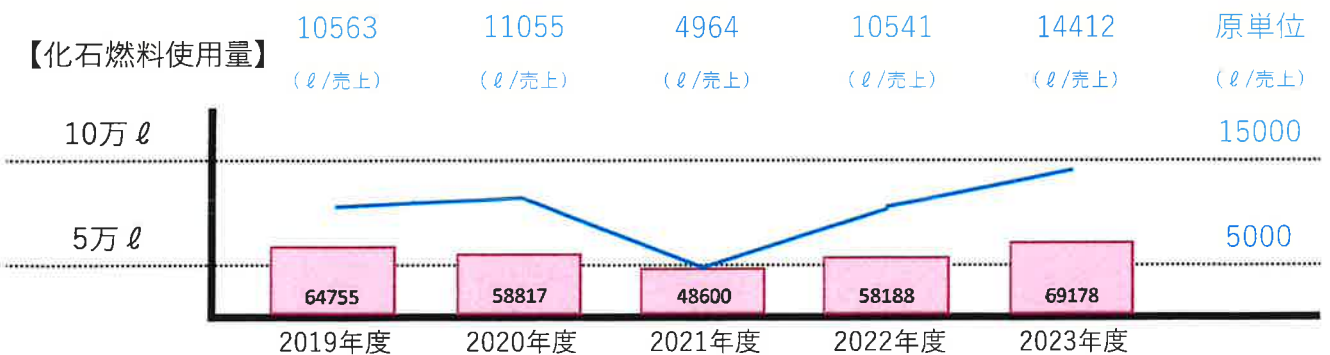
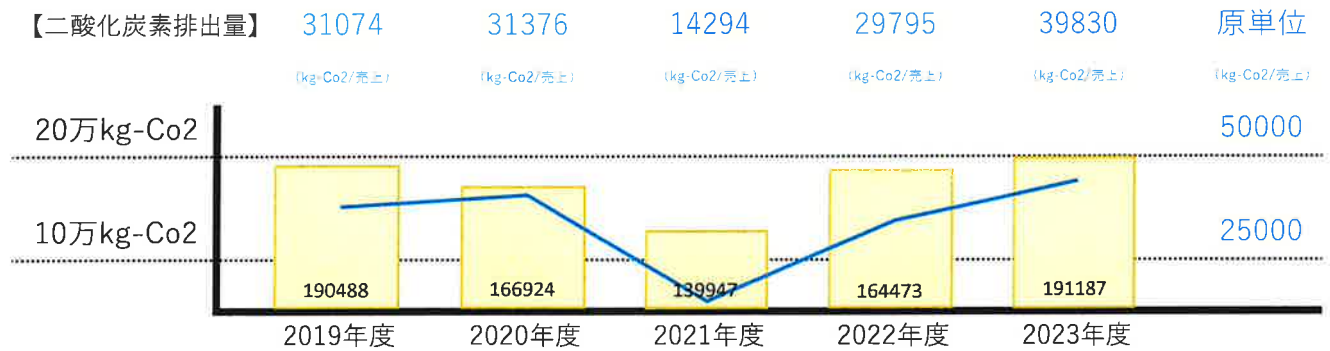
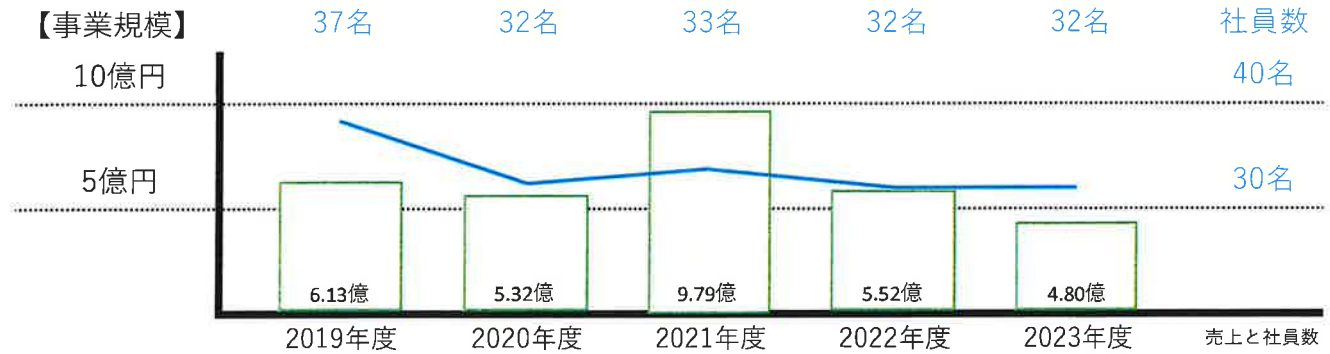
項目	報告内容（要旨）	代表者の評価
1.環境経営目標の達成状況、境経営活動計画の実施状況	・当年度環境経営目標、環境経営活動計画及びその取組結果報告	現場用重機燃料使用量の未達成等があるが、「年間ガソリンの使用量削減は評価」する。
2.外部コミュニケーション	・社会貢献活動の賞賛1件	社会貢献活動は、企業活動として当たり前だと思ひ、営業展開にも繋がる事だと思ひます。
3.環境法規制等の順守状況	・当年度環境法規制等の確認報告	法規制遵守への徹底がはかられていると評価する。
4.是正処置及び予防処置の実施状況	・是正処置1件 ・予防処置1件	是正処置は注視継続する。 予防処置は評価する。

### 2 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の要否	指示事項等	回答者	回答日	回答内容
1. 環境経営方針	否	改定なし	代表取締役	9月27日	環境経営方針については継続。
2. 環境経営目標	要	次期目標を見直しとのこと	環境管理責任者	9月27日	是正処置を行い環境経営目標の見直しを行います。
3. 環境活動計画	要	次期目標を検討のこと	環境管理責任者	9月27日	目標値のレベルアップを図り、次年度の目標、計画を作成
4. システム運用	要	問題の未然防止（予防処置）に重点を置くこと。	環境管理責任者	9月27日	苦情等の潜在的要因を洗い出して予防処置をはかっていく。
5. 実施体制の見直し	否	改定なし	代表取締役	9月27日	実施体制については継続。
6. その他	要	環境に関する意識向上の人材育成計画を策定のこと。	環境管理責任者	9月27日	計画案を策定した。(朝礼時にE A 21を関して通達・指導を適宜実施する)

# 実績グラフ（過去5年分）

株式会社 丸正サンキョー



# 実績グラフ（過去5年分）

株式会社 丸正サンキョー

